

# 郵趣振興協会 活動報告

2020年12月4日～2021年3月6日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

## 全国切手展「スタンペックス ジャパン2021」の開催に向けた活動が本格化

本年4/10-13に開催を予定している全国切手展「スタンペックス ジャパン2021」の開催に向けて、審査委員会・実行委員会の活動がそれぞれ本格化しています。

審査委員会は、12月10日に、同展覧会で審査を担当する4名の審査員を発表すると共にアプレンティス審査員の募集を発表しました。また同月17日の出品作品募集締め切り後、展示作品を決定し、提出書類による事前審査を開始しました。

実行委員会は、12月17日の出品作品応募者に対して同月21日にアクセプト結果を連絡すると共に、1月1日に展示アクセプト作品を発表。その後、出品料納付・出品封筒の送付・作品搬入に関するご案内を行うと共に、ご協賛いただいているスタンベディアプロジェクトに、公式目録の製作依頼を行いました。

2月に入ると、共催の郵政博物館との打ち合わせを重ねると共に、実行委員の募集を開始し、設営・撤去並びに審査事務の支援・開催期間中の対応及び目録以外の製作物の作成と広報・宣伝も準備しております。

開催まで一ヶ月強ですが、COVID-19感染症の状況を見極めつつ、最適な形で全国切手展の開催ができるように準備しておりますので、ご出品者はもちろんご参観いただく方もご期待ください。

## 来年度事業(2021年度)として、競争展出品者をターゲットにした、WEBセミナーシリーズ開催を決定

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト(斎享リーダー)では、本年度2回開催したWEBセミナーの視聴者アンケートによる好評を受け、2021年度に3ヶ月連続で開催するWEBセミナー「競争切手展に向けた作品の改善方法」の実施を決定しました。

斎享氏を始めとする当協会の理事が講演を行うほか、国際郵趣連盟審査員である佐藤浩一氏による基調講演を予定しています。同セミナーの視聴は有償とし、事前にチケットをお買い求めいただく形態を予定しておりますが、当協会の2021年度賛助会員には、チケット1枚を無償配布する予定ですので、どうぞ来年度のご継続をよろしくご願い申し上げます。

## オンライン郵趣例会振興プロジェクトからのご報告

当協会では、2020年4月より齋 享 理事をプロジェクトリーダーにして、オンライン郵趣例会の活用を促す活動を行っていますが、本活動報告期間中には、以下の活動を実施しました。

### (1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会	6回
外国切手研究会	13回
昭和切手研究会	2回
南方占領地切手コレクターズクラブ	3回

### (2) WEBセミナーの後援(右図)

「第3回南方占領地切手のフィラテリー展 作品解説」  
(2020年12月23日)

### (3) オンライン郵趣例会開催団体の集客支援方法の提供

当協会ホームページにおける、例会報告コーナーの提供

外国切手研究会	13回
南方占領地切手コレクターズクラブ	2回



当協会では、今後とも、技術面およびマーケティング面で様々な取り組みを行うことで、オンライン郵趣例会の振興を図っていきたくと考えております。

### 特定非営利活動法人 郵趣振興協会 役員改選のお知らせ

当協会の現理事及び監事の任期が切れることを受けて役員改選を以下の通り行います。

#### 対象役職及び現任

理事 5人 吉田敬、行徳国宏、齋享、池田健三郎、菊地恵実  
監事 1人 横山裕三

#### 新役員の専任方法及び時期

当協会定款により、役員の専任は、通常総会にて決定されます。まず、当協会理事会より役員候補(理事：3名以上5名以下、並びに監事：1名以上2名以下)を決議事項に含む通常総会の開催(2021年3-5月を予定)をご案内します。

今回開催される通常総会は2020年度正会員により構成され、その議決で新役員が決定されます。(定款により議決権を持つのは正会員のみです。賛助会員には議決権はありません。)

#### 役員候補の決定について

総会に提出される役員候補は、代表理事が素案を作り、当協会理事会に諮り決定します。現在、当協会の役員(理事・監事)の報酬は0円ですが、フィラテリーの振興にあたり自薦を受け付けております。ご関心のある方は代表理事まで3月20日までにご連絡ください。

## 各種事業の進捗について

当協会は「2020年度事業計画書」において、5つの事業を計画しております。

それらは「エキシビジョン事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」の5つです。当クオーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビジョン事業

郵博 特別切手コレクション展（2020年度）を、郵政博物館と共催で1回開催。

12/14-15 第3回南方占領地のフィラテリー展

郵博 特別切手コレクション展（2021年度）等の展覧会の準備

スタンペックスジャパン2021実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）の活動継続

### フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。（本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社へ委託しています）

### リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

### フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（12-2月で34件。対前四半期+0%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

### 次世代育成事業

スタンプクラブ「月刊切手ニュース」への協力

### 総務ほか

スタンプショウ＝ヒロシマ2021実行委員会からの後援依頼の内容変更を承認（12/15）

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）